

平田地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成27年11月21日(土) 14時00分～15時30分
- 場所 釜石・大槌地域産業育成センター 2F 会議室
- 次第
 1. 挨拶
 2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 3. 国道45号の工事進捗について
 4. 災害危険区域の設定について
 5. 意見交換

- ①前回(3月)の説明会の際に、工事は予定通り進んでいると説明があった。すでに自宅再建の予定を立てており、工務店と契約をしている。本日の説明で半年ほど工事が遅れると言われたが、この工事の遅れは3月の時点で既にわかっていたのではないか？
- ②3月～11月の間、目に見える工事がほとんどないように感じており、これでは工事が遅れるのも当然だという印象を持っている。これ以上遅れることがないように念を押したい。

→ ①最近になって、様々な作業工程を調整する中で出てきた遅れです。3月の時点で既にわかっていた状況ではありません。様々な状況が積み重なって今回の遅れが発生しておりますので、何卒ご理解をいただきたいと思っております。工務店とご契約済みとのことですが、市から地権者様を通して工務店へご説明をして、こういった方法を取れるかをご相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。 ②今後も遅れが出ないように努力してまいります。今お示ししている状況をしっかり把握し、矛盾がないように計画に反映して進めてまいりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

- ①工事の遅れに関して。消費税率の引き上げにより、家を建てる際の値段が高くなり損をする。これに対する更なる補償を考えてもらいたい。
- ②平田地区はマサ土があるため、地盤沈下等が起こらないか心配している。強度には問題がないか。
- ③災害危険区域について。対象となる土地の地権者としては、市の条例で決めたということではあるが受け入れがたい。

→ ①今後の工事状況に伴う減免や税の負担、補償等については国の基準等に照らし合わせて、しっかりと対策を考えていきたいと思っております。

②昨年の11月に、試験盛土の公開試験を行っております。その結果、今の段階で我々が目指すものより高い強度が得られています。今後も皆さんに不安を抱かせないように進めてまいります。

③災害危険区域の宅地についてですが、皆様の宅地・用地の安全を確保する目的で区域を設定させていただきました。納得いかない部分もあるかと思いますが、釜石だけではなくほかの地域でも同様に決定しているルールでございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

①橋の工事について。素人から見ると、そこまで時間がかかるような工事には思えない。工期の遅れはこれ以上ないか？
②予定通りに工事が進まないのであれば、他の出来る場所からやっていくといった対策は取れないのか？
③工事する場所に大きな石が見つかったなど、これまでに工事が遅れる理由は聞いている。しかし、そもそも遅れることが許される考え方ではなく、工期通りに進めるように対策を取って欲しい。

- (国土交通省東北地方整備局釜石維持出張所回答) : ①橋の構成について説明をすると、橋を載せる橋台の下に杭を打ち込んでいます。今ある橋の場所に新たに造る予定ですので、まず橋を取り壊しました。その後、土に杭を打ち込むのですが、想定していた深さのヶ所に支持層となる地盤が確認できませんでした。支持層に到達する長さの杭を打つだけで良いのか、それとも橋の構造計算からやり直す必要があるのかを検討している状況です。追加でボーリング調査を行っておりますので、その結果次第で対策が決まります。それにより工期に遅れが出る可能性があります。
- ②お示ししているステップ図の通りに進める必要があります。様々な業種の工事を調整して進めなければなりませんので、これからも我々を含めた工事の進捗を調整して進めていきます。
- ③市や電力会社、NTTなどと今後も調整を続けて、出来る限り早く工事が終わるよう努めてまいります。

工事が遅れている原因をしっかりと分析して対策をとっていかないと、ただ工期が遅れるのを繰り返すだけになるのではないか？

- (市長回答) : 何人もの方から同じ意見をいただいております。私も、それが当然の考えだと思っております。これから宅地造成の時期が示され、自宅再建等の山場に来ていると思います。今後は詳細に、工事の人員や車の台数など、具体的な話をしないと市民の皆様は納得していただけないと思っております。工事スケジュールの調整や、各工事業者との調整を皆様の目に見える形でお示すために、説明会や工事の見学会を考えています。

国道45号線について。ローソン付近の交差点は、朝非常に渋滞する。この渋滞で発生する工事の遅れを考えると、一時的に道路工事に予算をかけてでも先に解決したほうがいいのではないか？

- (国土交通省東北地方整備局釜石維持出張所回答) : こちらは片側交互通行等で渋滞しているわけではなく、あくまで交通量が多いために渋滞をしている状況のようです。工事の完成の際には、右折レーンも整備されますので、若干渋滞は緩和されると考えています。

①平田の道路状況について。以前から市長が熱意をこめて「平田～源太沢間道路」の開通をしたいと話している。渋滞解消や、災害時の孤立を防ぐ大きな役割を担うと思うのだが、国や県は三陸縦貫道の開通で渋滞は解消されると考えているようだ。現在はどの程度の進み具合なのか教えてもらいたい。

②住民説明会の度に、工期の遅れについて発表がある。そろそろ、これ以上遅れない確約をすべきではないか。今後も遅れが続くと、釜石に帰ってくる人たちが減り、人口流出の原因となってしまう。

→ ①A：(市長回答)再三にわたり、地域の皆様からご意見を頂いております。また、平田を含めた多数の地域からの署名をお預かりし、県に届けてまいりました。この道路は、復興計画にも盛り込んでおり、県道として造ろうとしています。しかし、釜石市内だけで完結する県道というのは、県としては優先度が低いのが現状です。その為、なかなか進みは遅いのですが、今後もくじけることなく進んで参ります。

②先日、竹下復興大臣が「これ以上、工事が遅れると言わないようにしたい」と話されました。私も同じ気持ちです。但し、現場では様々な状況があり、結果的に工事の遅れが出ている状況です。そのことにつきましては大変申し訳なく思っております。出来るだけ遅れないよう、全力を尽くしますので、どうかご理解をいただきたいと思っております。

(市長) : ご参加いただきありがとうございました。工事が遅れる説明会になってしまいましたが、これからも皆様のご理解を得られるような取組みをさせていただきたいと思えます。跡地利用についてご説明いたしましたが、これは非常に重要な条例となります。地権者の皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解をいただきたいと思えます。災害危険区域に指定された地権者の皆様への対応は、今後の課題となります。釜石以外の災害危険地域では、公園や工場・漁業の作業場にしようとして検討しているようです。平田につきましては、引き続き皆様とご相談していくことになるかと思えます。土地の税金についても、配慮していく必要があると考えております。国・県も交えて検討していきたいと思えます。

今までの反省をふまえ、これからは具体的な工事のお話をしていかなければならない時期です。皆様にご説明する機会を増やしてまいります。工事が遅れる事ばかり説明をしてしまい大変申し訳ありませんが、今後ともよろしく願いいたします。

(閉会 15 : 30)

以上